



当社グループの2015年度第2四半期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済につきましては、中国経済の減速の影響などがあるものの、良好な企業収益や雇用環境の改善などがあり、景気の回復は緩やかながらも継続しております。

一方、世界経済につきましては、欧州は緩やかな景気回復が継続しており、米国は雇用環境の改善などにより、緩やかな拡大基調が継続しております。アジア地域においては、中国は引き続き景気回復に減速が見受けられ、タイは景気の回復が低調な伸びにとどまっております。またその他の地域でも、経済成長に減速が見られるようになっております。

このような経済環境の中、今年度の世界の主要地域の自動車生産台数動向は、中国とタイは期初予想を下回る見込みと

なっており、北米は上回る見込みです。日本は予想台数で推移しております。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売は軽自動車税の増税の影響などがあり、2,329千台で前年同期比5.8%の減少となりました。完成車輸出は、2,230千台で前年同期比0.2%の減少となりました。これにより、国内の自動車生産台数は、4,446千台で前年同期比7.0%の減少となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なもの、パソコン向けが減少したことにより、HDD(ハードディスクドライブ)の受注は前年同期比で減少いたしました。

以上のような経営環境および円安環境のもと、売上高は311,123百万円(前年同期比8.8%増)となりました。また収益面では、営業利益は15,541百万円(前年同期比19.4%増)、経常利益は17,078百万円(前年同期比9.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,309百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

当第2四半期末配当金につきましては、1株につき11円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましては、1株につき11円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 **玉村 和己**